

株式会社 松屋 2016年5月上報告

1. 店舗別 売上高概況 (単位:%)

	売上高	入店客数
① 銀座本店	-10.9	-5.3
② 銀座店	-11.1	-7.6
③ 浅草店	-8.0	-1.2

① 銀座本店 : 「銀座本店」の数値は「銀座店」と「浅草店」両店計の売上高対前年増減率を表記いたしております
 ② 銀座店 : 「銀座店」のみの売上高対前年増減率を表記いたしております
 ③ 浅草店 : 「浅草店」のみの売上高対前年増減率を表記いたしております

2. 売上高対前年増減率推移

(単位:%)

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
銀座本店	26.8	29.1	35.2	20.2	16.4	5.3	5.4	9.0	6.2	-2.2	-7.0	-10.9
松屋銀座	29.8	32.9	39.5	22.0	18.2	6.4	6.1	10.2	6.6	-2.1	-7.0	-11.1
松屋浅草	0.1	-5.6	-5.0	-0.2	-4.3	-5.3	-2.1	-5.6	0.8	-3.0	-7.2	-8.0

3. 店舗別商況

銀座店	銀座店は、前年より晴天が少なかったこと等の影響もあり盛夏物婦人衣料のワンピース・カットソーの動きが鈍く、雑貨においてもサングラス・日傘が伸びず売上は苦戦いたしました。食料品はリニューアルオープンした和菓子ゾーン・生鮮・惣菜ゾーンが好調に推移したものの、エスカレーター工事等の施設更新による一部影響や、前年にインバウンド需要が大きくあったワインが苦戦したこともあり、食料品全体では前年には及びませんでした。店全体としては、前年のインバウンド需要の反動が大きく、売上高・入店客数ともに前年に届きませんでした。
浅草店	浅草店は、惣菜・食品ギフトが好調に推移いたしました。三社祭期間中の来街者の需要取り込みを図ったものの、主力の和洋菓子・生鮮三品・婦人服・化粧品が前年に届かず、店全体では前年割れという結果でした。

4. 商品別売上高対前年増減率

(単位:%)

	銀座本店	松屋銀座
紳士服・洋品	-6.5	-6.5
婦人服・洋品	-3.0	-2.8
子供服・洋品	-8.8	-8.8
呉服寝具他	-3.0	-4.0
衣料品計	-4.3	-4.2
身廻り品	-19.5	-19.5
雑貨	-10.5	-9.2
家具	-25.4	-25.4
家電	-49.0	-49.0
家庭用品	-5.9	-6.0
家庭用品計	-18.6	-18.6
食料品	-4.7	-4.4
食堂・喫茶	-5.8	-5.8
サービス、その他	-20.6	-21.9
合計	-10.9	-11.1

商品別概況(銀座店)

*紳士服・洋品は、クールビズ向けワイシャツ等好調アイテムはあるものの、売上高は前年を下回りました。
 *婦人服・洋品は、盛夏物商材の主力となるワンピースやカットソー動きが鈍く、売上高は前年を下回りました。
 *子供服・洋品は、衣料品の売上が伸び悩み、全体として売上高は前年を下回りました。
 *身廻り品は、サンダル等の夏物婦人靴やハンドバッグの売上が伸び悩み、売上高は前年を下回りました。
 *雑貨は、化粧品が好調に推移したものの、時計・宝飾の売上が大幅に前年を下回り、全体の売上高を引き下げました。
 *家庭用品は、タオル等好調アイテムはあるものの和洋食器が伸び悩み、売上高は前年を下回りました。
 *食料品は、惣菜等が好調に推移するものの、売場の一部にリニューアル工事影響があり、売上高は前年を下回りました。